



石川県公安委員会指定犯罪被害者等早期援助団体

公益社団法人 石川被害者 サポートセンターだより

Vol. **38**
2015.3.1

Ishikawa Victim Support Center

事務局 〒921-8105 金沢市平和町1丁目3番1号 石川県平和町庁舎2階 TEL 076-226-7831 FAX 076-226-7832

被害者支援フォーラム 2014

「被害者支援フォーラム 2014」を平成 26 年 12 月 6 日（土）に石川県地場産業振興センター本館 2 階第 1 研修室で開催いたしました。講師には（公社）にいがた被害者支援センター理事・支援局長で交通事故被害者遺族でもある中曽根えり子氏をお招きして「最愛の家族を突然失って」と題してお話ししていただきました。

当センターの支援活動員の感想を掲載いたします。

ある日突然に最愛の家族を失って動揺しない人はいないと思います。

講師の方はご子を突然の交通事故で亡くされて、さぞかし驚かれたことと思います。

お話を聞きながら今までの日常生活の流れが事故のために急変していくことにどのように対処されたのか、自分だったらどうするだろうかと考えました。

本日のご講演は、被害者支援にたずさわる支援活動員にも大変貴重なものとなりました。交通事故だけでなくその他の事件についても同様だと思いますが、まずは警察にお願いするか、救急車が、その場の状況に応じてどこかにお願いすることになると思います。けれども、もし自分が被害者になったとしたら冷静に対応が出来るのか、これまで色々勉強してきたつもりですが、果たして自分にはそれが出来るのだろうかと感じました。

被害者の方は、警察や関係機関の方々との対応について、不安な気持ちを抱えておられると思います。そのお気持ちにそって支えていくのが、私たち、支援活動員の役割です。

講師の方からは、弁護士・親族などからの支援の他、黙って側にいてくれた友人、家事のお世話をしてくれた友人などが心の支えになった、とお聞きし、私たち支援する者としても、「なるほど」と思うヒントをいただきました。

公的な支援としては、警察・検察庁・裁判所・弁護士会などからの支援があります。しかし被害者支援とはそれだけではないと思います。愛する家族を失った気持ちは一生消えるものではありません。事故後の生活をスムーズに送ることができなくて苦しい思いをされるのではないかと思います。一日も早くご家族の皆さんが落ち着いた生活に戻れるように、ささやかながら長く途切れることのない支援を続けていくことが大事なのだと思いました。

何年たっても失った人への想いと悲しみは消えるものではないと思います。少しでもその被害者の気持ちにより添いながら支援を続けていくことが大切だと思います。そして、支援する者も自分の気持ちを整理することが必要だと実感しました。貴重なお話、本当にありがとうございました。

(F.O.)



■ 被害者支援フォーラム 2014 被害者支援感謝状贈呈式 ■

「被害者支援フォーラム 2014」の講演に先立ち「被害者支援感謝状贈呈」を行いました。

<賛助会員>

当センター設立当初から永きにわたり賛助会員として犯罪被害者支援活動に深い理解を寄せられ、当センターの事業推進に貢献された以下の団体に感謝状(ガラス楯)を贈呈させていただきました(敬称を省略、五十音順)。

穴水警察友の会
石川県警友会
コマニー株式会社
珠洲警察署警察官友の会
白山警察署警察官友の会
北陸総合警備保障株式会社
輪島警察署警察官を励ます会



<広報啓発協力機関>

「犯罪被害者週間」に当センターのステッカー、ポスター掲示などの広報啓発にご協力いただいた以下の機関に感謝状を贈呈させていただきました(敬称を省略、五十音順)。

石川県タクシー協会
石川県理容生活衛生同業組合金沢支部
金沢市
株式会社ゴーゴーシステム
西日本ジェイアールバス株式会社
西日本旅客鉄道株式会社金沢支社
山成商事株式会社
連合石川



<広報啓発用ポスター入賞者>

「犯罪被害者週間」に併せて、昨年に引き続き広報啓発用ポスターを公募しました。応募9作品の中から以下のとおり優秀賞3名の方に賞状と副賞を贈呈させていただきました。

優秀賞 伊藤円伽 様
高田 光 様(欠席)
薮 俊明 様



被害者支援フォーラムに参加して

広報啓発協力機関として感謝状を贈呈させていただいた機関に被害者支援フォーラムに参加しての感想をお伺いしました。

平成17年、「福知山線列車脱線事故」を惹き起こした当事者として、安心安全な社会を築いていくうえで、少しでもお役に立てることがあればとの思いから、駅などでのポスター掲出に昨年からの協力させていただいております。

本来、感謝状をいただくような立場ではございません。これからも、犯罪や事故でなかなか悲嘆の癒えない方々に寄り添っていければと思う次第です。

西日本旅客鉄道(株)執行役員金沢支社長 野中 雅志

「当日参加させていただいて」

家族を持つ私にとっても他人事でないのだと深く感じました。単に心の傷や悩みといえど大小様々かと思いますが、事故や犯罪の「被害者」として持ってしまった心の傷や悩みは、想像しただけではわかり得ず、ただ、そのケアについては励ましの言葉や一緒に涙を流すなど心での共感だけではなく、現実の生活に関わる直接的な支援の必要性を深く感じております。

今後、私たちにもできうる限りの支援活動に尽力させていただきたいと思っております。

株式会社ゴーゴーカレグループ 営業本部 副本部長 瀬戸 貴博

この度、被害者支援フォーラム2014に参加させていただき、感謝状を頂戴いたしましたこと改めて御礼申し上げます。

貴センターの活動につきご教示いただいたこと、講演でお話しいただいたことを深く受け止め、業界として単なる広報ステッカー貼付ではなく、業務に携わる者すべてが安全への意識を改めて高く持って臨むよう啓蒙してまいります。

私たちにとって安全の確保は輸送の生命であり、ホスピタリティーは信頼の源泉です。お客様はもちろん、人に優しい運転を行うことで、事故を一件でも減らし、地元公共交通機関の一翼を信頼を持って担えるよう努めてまいります。

石川県タクシー協会 山根 真哉 (理事、総務委員長)

この度、石川県理容生活衛生同業組合金沢支部は初めて犯罪被害者週間に協力させていただきました。組合店全店にポスターの掲示と来店されたお客様への告知等行いました。恥ずかしながらこのような犯罪被害者週間、支援フォーラムなどがあることは知りませんでした。

当日はフォーラムには参加できなかったのですが、とても良いフォーラムであったと伺っております。今後もこのような活動が一人でも多くの人に認知されることを願っております。

石川県理容生活衛生同業組合金沢支部 共済副部長 葛巻 紀雄

現任研修会

石川被害者サポートセンターでは支援活動員のスキルアップを目的に月1回現任研修会を行っています。その一部をご紹介します。

現任研修会ではTV放映された番組等を一緒に見ながら研修することもあります。例えば「聞いてほしい、心の叫びをーバス放火事件被害者ー」(NHK)を見て、被害の重さや何気なく使った言葉が思わぬ形で受け止められる難しさを実感しました。また「それでもボクはやってない」という性犯罪の冤罪を扱ったDVDを用いて、リアルな公判の様子に色々と学ぶことの多い時間を過ごしました。



またテーマや場面を設定した上でロールプレイ、そしてディスカッションするという形のものもあります。例えば法廷での傍聴を支援するために付き添うことを想定しての事前準備と裁判所内での留意点をロールプレイしました。また代理傍聴の結果を伝えるためのロールプレイを行い、被害者が代理傍聴に求めるものを事前に整理した上で、事実と印象をきちんと区別して伝える大切さについてディスカッションしました。



「命の大切さを学ぶ教室」の開催

「命の大切さを学ぶ教室」は、石川県、石川県警察本部、石川県教育委員会と連携して、県内の中学校・高等学校等において、犯罪や交通事故でかけがえのない子どもさんを奪われたご遺族を講師としてお招きし、生徒たちに直接お話しいただいています。「犯罪被害者等が受けられた様々な痛み」、「突然かけがえのない子どもを亡くされた親の思い」、「命の大切さ」等について生徒たちに学んでいただくとともに、被害者等の心情に対する理解と共感を育み、同時に、自分や他人の命の大切さ、犯罪や交通事故をおこしてはいけないとの規範意識の向上を図ることを目的として行っています。



なお、平成26年度中の「命の大切さを学ぶ教室」開催は、下記の4校でした。

開催日	開催学校	講師
平成26年 5月 9日(金)	小松明峰高等学校	交通事故被害者遺族
平成26年 9月 17日(水)	金沢辰巳丘高等学校	交通事故被害者遺族
平成26年 12月 10日(水) 平成27年 1月 28日(水)	金沢北陵高等学校	少年事件被害者遺族
平成27年 1月 17日(土)	金沢市立大浦小学校PTA	交通事故被害者遺族

聴講した生徒さんの感想文紹介(抜粋)

○これからは、今生きていることに感謝して、しっかり生きていこうと思います。両親がどれだけ自分を大切にしてくれているかを改めて感じました。帰ったら、今日の講演の内容を話して、「いつもありがとう。」を伝えたいと思います。

○自分の命を大切にしようと思いました。歩きながらのスマホや傘さし運転、大音量で音楽をききながらの運転もやめようと思いました。今までは、自分がもし死んでも誰も悲しまないと思っていたけど、今日の講演を聴いて親を悲しませてしまうと思った。そして、命は一つしかないので将来の夢に向かって一生懸命努力していこうと思いました。

○何度も死にたいと思ったことがありました。けれど、今日の講演で聴かせて下さった言葉一つひとつに命の重みを感じました。改めて自分の命の大切さ、自分の命は自分だけのものじゃないんだと感じました。お話を聴きながら涙が止まりませんでした。「楽に死ぬことができたなら」なんてことは、もう二度と考えたくないと思いました。生きてくても生きることができない、できなかった人達に申し訳ないと思いました。私が生きるこれからの一瞬、生きているこの一瞬をかけがえのないものとして過ごしたいと思いました。今日、私が聴いて伝わった気持ち、言葉を他の人達にも伝えたいと思いました。これからも沢山の人の、「命の大切さ」を伝えて欲しいと思いました。本当にありがとうございました。

自助グループ支援活動について

自助グループとは

自助グループとは、同じような苦しみを体験した方同士が、お互いに支え合い、励まし合う中から、問題の解決や克服を図ることを目的に集うグループのことをいいます。

交通事故被害者の会「でんでん虫の会」

「でんでん虫の会」は、平成 15 年 10 月に交通事故被害者遺族が集って発足しました。会の名前は会員の方が、新美南吉の童話「でんでんむしのかなしみ」に共感し、そのタイトルから名付けられました。

現在、月 1 回 1 時間半の集まりを開催しております。

「安心して話ができる。」「当事者でなければ分からない気持ちを理解してもらえる。」「体験を通じた情報を得ることができる。」など、会員にとって貴重な場です。

石川被害者サポートセンターでは、交通事故被害者の会「でんでん虫の会」の活動を支援しています。交流場所の提供や開催日時の連絡調整などの事前準備等を行っているほか、集まりには、当サポートセンターのスタッフが同席しております。

参加を希望される方は、当サポートセンターまでご連絡下さい。

「でんでん虫の会」の会員より

○ 2011 年 3 月、父を交通事故で亡くしました。初めて直面した突然の事故。戸惑うばかりの毎日。そんな中、石川県警の方の紹介で、自助グループ「でんでん虫の会」との出会いがありました。会の雰囲気は、穏やかなもので、肉親を亡くした悲しみを少しずつ自分で受け止めていく支えや力になっていきました。悲しみに蓋をせず、会に参加して、話を聞いたり、聞いて頂いてもらううちに時薬（ときぐすり）になりました。大切な出会いに感謝しています。

○ 死者は生き返らず、ただ心の中に悲しみは深まるばかりでいます。何故？と問い続けて、自助グループを通して明日への自己完結に考え続けています。



賛助会員募集

石川被害者サポートセンターの活動は、正会員費・賛助会員費・寄付金等によって成り立っています。支援活動員はボランティアですが、被害者支援活動、支援活動員の研修、広報啓発活動、事務局運営等に経費を必要としています。

この趣旨にご賛同いただける新規会員の入会またはご寄付をお待ちしております。

お問い合わせ・お申し込みは事務局までご連絡ください。

- 賛助会費（年額） 【個人】 1口／3,000円 【団体】 1口／30,000円
- 振込口座 ゆうちょ銀行（記号）13130（番号）17807221
北國銀行香林坊支店（普通口座）470482
- 口座名義人（ゆうちょ銀行・北國銀行共）公益社団法人石川被害者サポートセンター
- 連絡先住所 金沢市平和町1丁目3番1号石川県平和町庁舎2F
公益社団法人石川被害者サポートセンター事務局
TEL 076-226-7831 FAX 076-226-7832

「被害者支援自動販売機・募金箱」設置のお願い

石川被害者サポートセンターでは、被害者支援自動販売機を設置していただき、その売上金の一部を犯罪被害者支援活動のためにご寄付いただける協力企業・団体や、店舗等に当サポートセンターの「募金箱」を設置していただける方を求めています。

◇平成26年度の被害者支援自動販売機の設置状況（平成27年1月末現在）

平成26年度は、新たに11企業において合計27台の被害者支援自動販売機を設置させていただきました。ご協力ありがとうございました。

<設置企業>（敬称を省略）

(株)エムアンドケイ コマツ石川(株) 美漢方爽泉ドラッグ前田 (有)べんりやさん
(株)不動ジャパン (株)アドマック (株)アース 山成商事(株) 他匿名希望3企業

◇平成26年度にご協力をいただいた自動販売機業者（敬称を省略）

北陸コカ・コーラボトリング(株) (株)ベネフレックス (株)伊藤園 (株)コーシン
(株)ジャパンビバレッジウエスト (株)ジャパンビバレッジホールディングス (株)ヤクルト北陸
(株)ダイドードリンコ北陸 (株)赤岩商会 サントリービバレッジサービス(株)

「ホンデリング」のお礼

平成26年、「ホンデリング」に16件のご協力をいただきました。寄付総額は96,646円となりました。誠にありがとうございました。

「ホンデリング」とは、古本を寄贈していただき、その買取額が当センターに寄付されるもの。

公益法人への寄付に関する税制上の優遇について

公益社団・財団法人は、税法上「特定公益増進法人」に該当し、法人が実施している「公益目的事業」を支援するために支出された寄付金（寄付金・賛助会費等）については、税法上の優遇制度が認められています。（詳しくは、当センターのHPをご覧ください。）

石川被害者サポートセンター 応援隊を大募集!!

石川被害者サポートセンターでは、さまざまな形での皆さまの応援をお願いしています。ちょっとした皆さまの応援が犯罪被害者支援につながっていきます。

応援の仕方には「資金援助型」と「PR型」の2種類があります。

「資金援助型」には賛助会員になっていただいたり、ご寄付や募金箱を設置していただくものがあります。また寄付金付自動販売機を設置していただき売上金の一部を寄付していただくというものがあります。不要となった古本をまとめて寄付していただくホンデリングは vol.36 でもご紹介させていただきました。

「PR型」は当センターの会報誌配布・設置やステッカー・ポスター掲示をしていただくものです。また犯罪被害者支援について理解を深めていただくために、年1回開催している被害者支援フォーラムへの参加や社内での人権研修会の一つとして犯罪被害者支援に関するテーマを取り上げていただくこともお願いできればと思います。当センターから講師を紹介させていただくこともできます。

以上のようにさまざまな形での活動が犯罪被害者支援につながっていきます。これは企業の社会貢献のPRにもなり、イメージアップにもなります。このことが社員一人ひとりの意欲を高めるとともに、組織力もアップしていくという良い循環をつくるきっかけになるのではと思います。

皆様の温かいご支援をお待ちしております。

